

Luxman

PHONO AMPLIFIER

E-200

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのフォノ・アンプリファイヤー E-200 をお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

目次

使用上の注意	1
各部の名称と用途	2
接続方法および接続図	4
ブロックダイアグラム	6
規格	7
アフターサービスと品質保証について	8
修理に出される前に	9

アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。
とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

カートリッジ接続時のご注意

アナログプレーヤーやトーンアームと本機のグラウンド端子を接続してください。
接続が不完全ですと、ハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。
また本機の入力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。

出力機器接続時のご注意

本機とコントロールアンプまたはプリメインアンプを接続するときには、本機および出力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。電源が入っていると、大きな雑音が発生することがあり、故障の原因にもなります。
また、本機の出端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。コントロールアンプなどの入出力端子に差し込むピンプラグも同様です。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生しS/N比が悪化する原因になります。

電源 ON 後すぐに音は出ません

本機には出力回路を切り離すためのタイム・ミュージング回路が組み込まれているため、電源 ON 後すぐには音が出ません。(本機の場合、パワー・インジケータが青色に点滅して準備動作中であることを示します) 一定時間経過するとパワー・インジケータが青色に点灯し動作状態になります。

このタイム・ミュージング回路が解除されるまでに、アンプの音量ボリュームが上がっていると、急に大きな音が出てくることになります。音量ボリュームは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

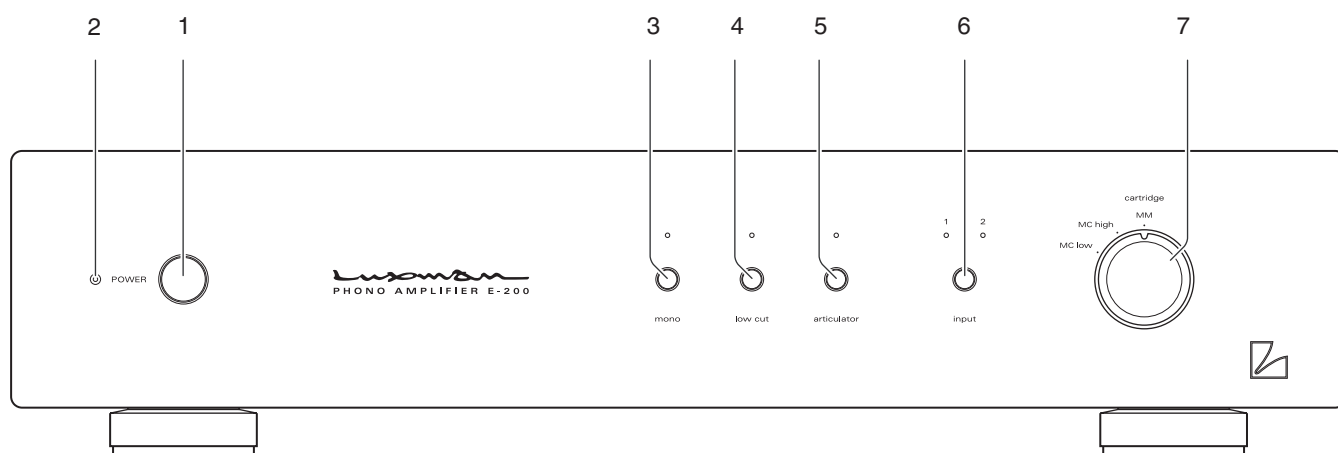
修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

各部の名称と用途



1. 電源スイッチ (power)

電源を ON/OFF するためのスイッチです。入出力端子の接続時には必ずこのスイッチを OFF にしてください。

- : off
- : on

2. パワー・インジケータ

電源スイッチを ON にすると青色に点滅し準備動作中であることを示します。一定時間経過後、青色に点灯し、動作状態になったことを示します。

青色に点滅中は、出力ミュートが作動し、音はでません。コントロールアンプなどの音量ボリュームは、必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

3. モノラル・スイッチ (mono)

出力モードの切り替えスイッチです。

- : 通常のスtereo再生をします。
- : 左右チャンネルの信号がミックスされ、LED が点灯します。

4. ローカット・スイッチ (low cut)

低音域をカットするスイッチです。

- : off 通常の状態です。
- : on 低音域がカットされ、LED が点灯します。

5. アーティキュレーター (articulator)

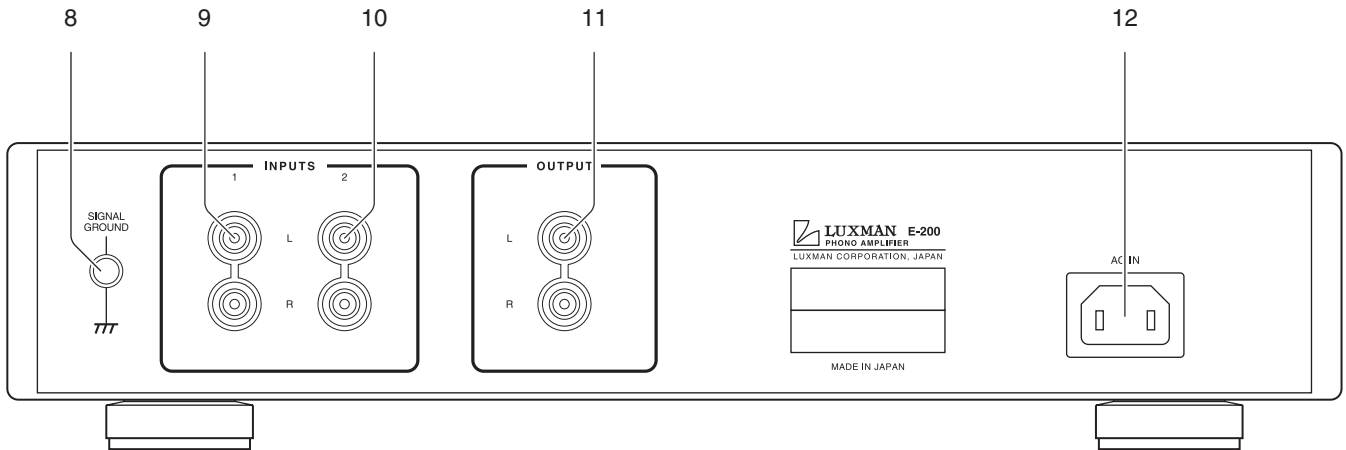
アーティキュレーターとは調律の意味です。

このポジションにしてカートリッジを数十秒はしらせるだけでレコードに記録された音楽が、カートリッジの再生能力をその音楽に最適になるように調律していきます。

いつもお聞きの音楽が、どうもはっきりしない、楽しくない、とお感じの時にこの機能を使用しカートリッジを生きかえらせてください。

- : off 通常の状態です。
- : on アーティキュレーター動作になり、LED が点灯します。

アーティキュレーター・ポジションでは、再生中音が出ないか、非常に小さな音になります。これは、カートリッジの調律中であることを示しています。この時アーティキュレーター・ポジションをはずすと急に大きな音になりますので、コントロールアンプ等の音量ボリュームを大きくしないでください。また、アーティキュレーターは、曲の終り付近で曲の終りまで行なうことをおすすめします。



6. 入力セクター・スイッチ (input)

入力の切換スイッチです。再生したい入力系統を選択してください。

- : 入力端子1が選択され (1) のLEDが点灯します。
- : 入力端子2が選択され (2) のLEDが点灯します。

7. カートリッジ・セクター (cartridge)

ご使用になるカートリッジのインピーダンスによって、アンプの入力インピーダンスを合わせる必要があります。

本機は、このカートリッジ・セクター・スイッチにより、アンプの入力インピーダンスを選択することができます。ポジションはMMと、MCはlow、highの2つあります。カートリッジの取扱説明書に書いてある適合入力インピーダンスに従って選択するか、好みの音質になる様に選択してください。

カートリッジ セクター	MM	MC high	MC low
インピーダンス	47kΩ	40Ω	2.5Ω

8. シグナル・グラウンド端子 (SIGNAL GROUND)

本機に接続する機器のアース用端子です。この端子は他の機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのもので、アナログプレーヤーやトーンアームと接続します。安全のためのアースではありません。

9. 入力端子1 (INPUT 1)

アナログプレーヤーやトーンアームから出力されるRCAピンケーブルの入力端子です。

10. 入力端子2 (INPUT 2)

アナログプレーヤーを2台、またはトーンアームを2本ご使用の場合、もう1本のRCAピンケーブルのための入力端子です。

入力セクター・スイッチによりINPUT 1と2の選択が可能です。

11. 出力端子 (OUTPUT)

本機の出力端子で、コントロールアンプやプリメインアンプのライン入力端子にRCAピンケーブルを使用し接続します。

フォノ (PHONO) 入力端子に接続するとアンプを破損する恐れがあります。必ずライン入力端子に接続してください。

12. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源はAC100V家庭用コンセントをご使用ください。

接続方法および接続図

接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が2つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源スイッチと併用機器の電源をすべて OFF にしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。

電源極性の合わせ方

一般家庭用の2極の電源コンセントは一方がアース、もう一方が交流 100V となっており、電源ケーブルのプラグを正しい向きに差し込んでいただくことで、電源の極性が全ての機器で一致し、より高音質な音楽再生をお楽しみいただくことができます。本機に付属の電源コードでは、プラグ部に刻印されている文字が正しく読める向きに見たとき、右側の端子がアース側となります。部屋のコンセントのアース側が区別されているとき（差し込み穴が広がっています）は、プラグのアース側がコンセントのアース側になるように差し込んでください。

※コンセントのアース側が区別されていないときなど、どちらの向きに電源プラグを差し込んでも本機の基本性能には影響ありません。

出力機器の接続

1. 本機の出力端子とコントロールアンプやプリメインアンプのライン入力端子を RCA ピンケーブルで L チャンネル、R チャンネルを間違わないように確実に接続します。この時、ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し S/N 比を悪化させますので、奥まで確実に差し込んでください。
2. コントロールアンプやプリメインアンプのフォノ (PHONO) 入力端子に本機の出力端子を接続しないでください。プリメインアンプやコントロールアンプなどのフォノアンプがクリップして歪むだけでなくアンプが破損する恐れがあります。必ずライン入力端子に接続してください。

3. 本機には、音量調節機能がないので、音量調節は、接続したコントロールアンプやプリメインアンプの音量ボリュームにより行ってください。接続時には、この音量ボリュームは、左に絞りきっておいてください。右に回わしきっていると、電源を ON にして音楽を聞いたとき、大きな音が急に出て、スピーカーなどを破損させる恐れがあります。

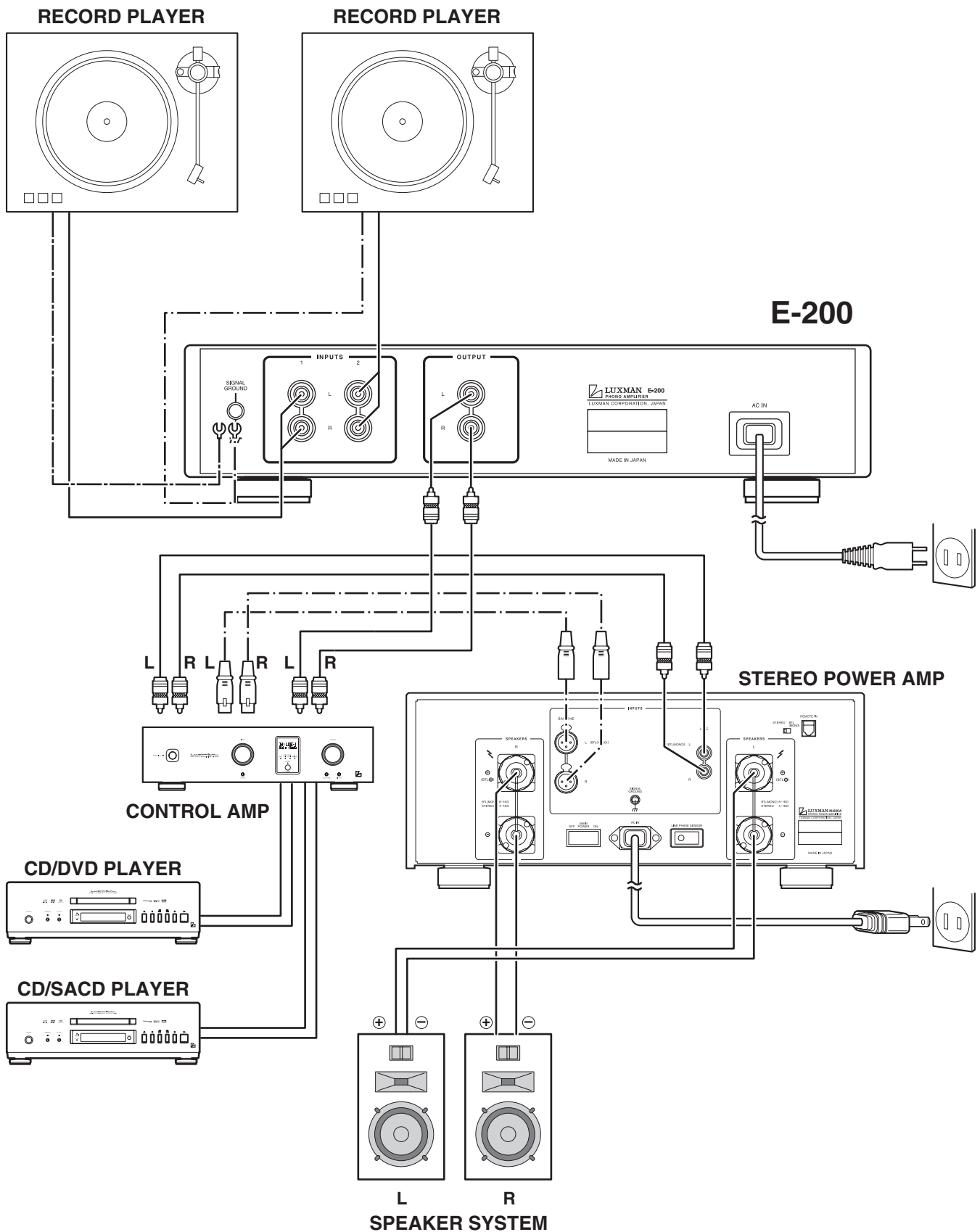
必ず、音量ボリュームは、左に絞り込み、音楽が聞こえてから、お好みの音量に調節してください。

カートリッジの接続

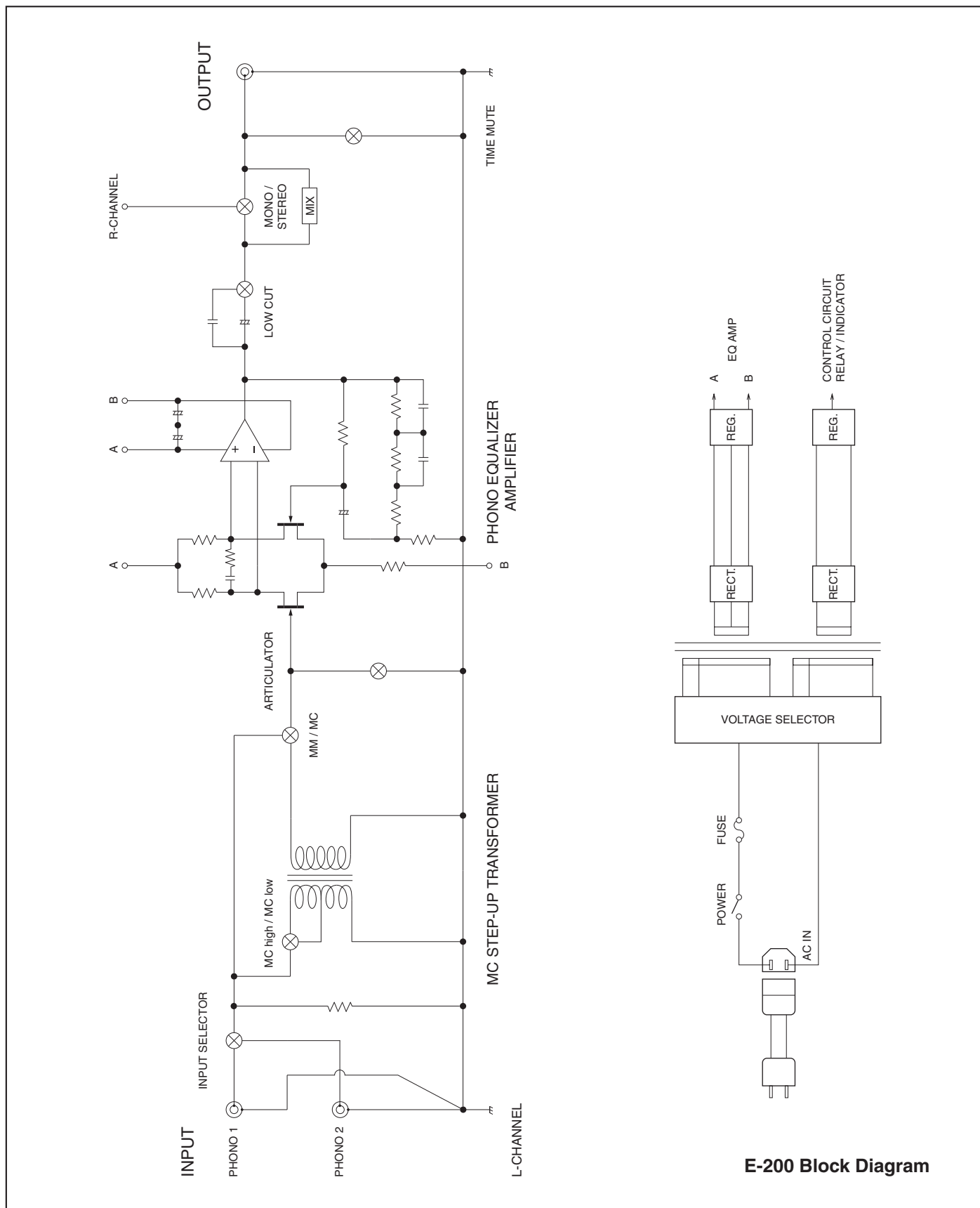
1. アナログプレーヤーやカートリッジを取り付けたトーンアームから出力される RCA ピンケーブルのピンプラグを本機の入力端子 1 あるいは入力端子 2 に差し込みます。この時、L チャンネル R チャンネルを間違わないように確実に差し込んでください。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し S/N 比が悪化します。
2. アナログプレーヤーやトーンアームと本機との間でアースをとる必要があります。トーンアームから出力されるピンケーブルと平行して出ているアース線の本機のグラウンド端子に確実に取り付けてください。これが不完全ですとハムなどの雑音が発生し S/N 比が悪化させます。
3. 入力端子 1 に接続したアナログプレーヤーやカートリッジで音楽をお聞きになる場合は、入力セレクター・スイッチで入力端子 1 を選択してください。同様に、入力端子 2 に接続したアナログプレーヤーやカートリッジで音楽をお聞きになる場合は、入力セレクター・スイッチで入力端子 2 を選択してください。

フォノ・イコライザー内蔵のレコードプレーヤーの出力は、本機に接続しないでください。アンプがクリップして歪むだけでなく故障の原因となる場合があります。

フォノ・イコライザー内蔵のレコードプレーヤーの出力は、プリメインアンプやコントロールアンプなどのライン入力に接続してください。



ブロックダイアグラム



E-200 Block Diagram

回路方式	MC ステップアップ・トランス付き NF 型イコライザー		
	MM	MC high	MC low
入力感度	4mV	0.4mV	0.18mV
入力インピーダンス	47kΩ	40Ω	2.5Ω
利得	36dB	56dB	63dB
RIAA カーブ偏差	± 0.5dB		
出力電圧	250mV		
出力インピーダンス	300Ω		
S/N 比 (IHF-A)	85dB	77dB	76dB
チャンネルセパレーション (10kHz)	75dB 以上		
付属機能	[フロントパネル] ・電源スイッチ ・モノラルスイッチ ・カートリッジ切替スイッチ (MM / MC high / MC low) ・アーティキュレータースイッチ (消磁機能) ・パワーインジケーター [リアパネル] ・入力端子 (2 系統) ・信号グラウンド端子 ・入力切替スイッチ (2 系統) ・ローカットスイッチ (30Hz/-3dB) ・出力端子 (1 系統) ・AC インレット		
付属品	・電源ケーブル ・取扱説明書 ・安全上のご注意 ・保証登録書		
電源電圧	AC 100V (50/60Hz)		
消費電力	4W (電気用品安全法による規定)		
外形寸法	368 (W) × 84 (H) × 257 (D) mm (端子 / ノブを含まず)		
重量	4.4kg (本体)		

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げの販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

LUXMAN

ラックスマン株式会社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-3-1
tel. 045-470-6991 fax. 045-470-6997 www.luxman.co.jp



ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費等を戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差込まれていない。	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源プラグが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグを AC インレットへ確実に差し込む。
電源は入るが音が出ない。 (音が小さい)	・接続が確実に行われていない。	・接続を確実に行う。
	・接続した入力端子と入力セレクター・スイッチの設定が合っていない。	・入力端子と入力セレクター・スイッチを正しく合わせる。
	・コントロールアンプの入力セレクターが合っていない。	・コントロールアンプの入力セレクターをセットし直す。
	・コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールが絞りが切られている。	・コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールを調節する。
	・使用しているカートリッジの種類と MM/MC セレクター・スイッチの設定が合っていない。	・MM を使用している場合は MM に、MC を使用している場合は MC に、カートリッジ・セレクター・スイッチを合わせる。
	・アーティキュレーター・ポジションになっている。	・ボリュームを絞りを、適正入力インピーダンスに合わせ、音が出てからボリューム・コントロールを調節する。
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	・接続ケーブルのアース側が接触していない。	・接続を確実に行う。
	・シェルやトーンアームのアースが浮いている。	・シェルやトーンアームのアースを確実にグラウンド端子に接続する。
	・他機器の電源トランスから誘導ノイズを受けている。	・他機器から離して設置する。
	・接続ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。	・接続ケーブルと電源ケーブルを離す。
音の定位がおかしい。 低域が出ない。	・L チャンネルと R チャンネルが逆に接続されている。	・L チャンネルと R チャンネルを正しく接続する。
	・入力インピーダンスの設定がカートリッジに合っていない。	・正しい入力インピーダンスに合わせ直す。

